



児童青年精神医学入門 その4:子ども虐待

浜松医科大学児童青年期精神医学講座
杉山登志郎



わが国の子ども虐待を巡る課題

- 対応が後手になり、急増に追いつかない
- 虐待死が後を絶たない
- 性的虐待が十分に把握されていない
- 子ども虐待を巡る様々な後遺症がまだ十分に理解把握されていない
- 社会的養護が既に破綻、しかしそのことが知られていない・・・福祉経済学の立ち遅れ
- 里親へのバックアップが不十分
- 発達障害と子ども虐待が複雑に絡み合うことへの理解が十分になされていない



あいち小児センターで診療を行った子ども虐待の症例(2001.11~2011.10)

虐待の種類	男性	女性	合計	%
主として身体的	347	149	496	44.68
主としてネグレクト	109	77	186	16.76
主として心理的	122	111	233	20.99
主として性的	56	132	188	16.94
代理ミュンヒハウゼン	2	5	7	0.63
合計	636	474	1110	100



子ども虐待に認められた併存症(N=1110)

併存症	男性	女性	合計	%	
自閉症スペクトラム障害	233	90	323	29.1	発達障害
注意欠陥多動性障害	146	28	174	15.7	
その他の発達障害	49	46	95	8.6	
反応性愛着障害	256	197	453	40.8	虐待の後遺症群
解離性障害	272	251	523	47.1	
PTSD	153	205	358	32.3	
反抗挑戦性障害	139	79	218	19.6	非行群
行為障害(非行)	168	113	281	25.3	



発達障害と子ども虐待

- 発達障害は子ども虐待を受けやすい(全体の53%)
 - ・特に知的な遅れのない自閉症スペクトラム障害
 - ・自閉症スペクトラム障害の場合、母子アスペという特異な例がある(あるところではない！)
- 子ども虐待の結果生じる愛着障害には、発達障害に非常に類似した症状が認められる
 - ・特に注意欠陥多動性障害と虐待系の多動は鑑別が難しく、両方が掛け算になっている例も多い
- 子ども虐待そのものが、広範なそだちの障害を呈し、発達障害と言わざるをえない臨床像を呈する

.....第四の発達障害



子ども虐待で生じること(愛着障害)

- 愛着障害:愛着とは、乳幼児が不安に駆られたときに養育者によって不安をなだめる行動
 - ・対人関係の基礎
 - ・自律的情動コントロールの基盤
 - ・社会的行動の基盤
 - ・トラウマからの防波堤
- 歪んだ愛着の形成・・・虐待的絆
リラックス・安心 ↔ 緊張・警戒・生理的乱れ
虐待的対人関係の反復



子ども虐待で生じること（解離とフラッシュバック）

- ・ 辛いことを切り離す、無かったことにする→健忘と記憶の断裂
- ・ 虐待場面の再現：フラッシュバック（言語、思考、行動、生理、精神症状・解離性幻覚）
- ・ 切り離された部分が他の人格に
- ・ フラッシュバック→衝動的暴力→解離による健忘・・・経験による学習や修正がなされない
「止まっちゃう、暴れちゃう、忘れちゃう」



子ども虐待で生じること（反社会的行動）

- ・ 反抗挑戦性障害：かんしゃくをおこす、大人と口論をする、大人のいうことをきかない、わざと他人を怒らせる、意地悪で執念深い、おこりっぽい、いらいらしやすい、自分の失敗を人のせいにする など生意気な子ども達
- ・ 行為障害(非行)：触法行為、残虐行為など非行を繰り返す子ども達
- ・ 反抗挑戦性障害→(大部分は)自然治癒
↓ (子ども虐待では過半数)
行為障害(非行)



反抗挑戦性障害の重要さと大変さ

- 非行への一里塚:この段階で対応が必要
- 安心を与えてくれる大人との交流の欠如
- 愛着の形成不全
- コミュニケーションの不安定、不足
- 相互に悪いモデルのみを提供
- スイッチングによる大暴れ→解離による健忘
→体験の積み重ねによる修正が期待できない



トラウマの衝撃

- 慢性のトラウマが器質的な変化を引き起こす
- その影響は脳全体に及ぶ
 - …この影響はエピジェネティクスな変化(遺伝情報の読み取りレベルで変化が生じる)と考えるべき
- 発達障害と子ども虐待との複雑な絡み合い
- * 発達障害と子ども虐待を巡るニワトリ・タマゴ



子ども虐待の臨床的特徴

- 1人の子どもが沢山の診断カテゴリーを示す (車の喩え)
- 1人の子どもが診断カテゴリーを年齢が上がるに連れて変化させる: 異型連続性 (出世魚現象)

愛着障害

→ 多動性行動障害

→ 解離性障害

→ 多重人格など

→ 非行

→ 触法行為・薬物依存



性的虐待とその他の虐待との比較

	N	年齢幅	平均年齢(SD)
その他の虐待	856	1-18歳	8.3歳(14.5)
性的虐待	180	3-18歳	10.4歳(11.6)

併存症	その他の虐待 N=856	%	性的虐待 N=180	%	χ^2 値	p値
自閉症スペクトラム障害	275	32.1	25	13.9	39.5	<.01
注意欠陥多動性障害	143	16.7	19	10.6		
その他の発達障害	75	8.8	16	8.9		
反応性愛着障害	347	40.5	91	50.6	6.1	<.05.
解離性障害	366	42.8	146	81.1	87.5	<.01
PTSD	239	27.9	100	55.6	51.6	<.01
反抗挑戦性障害	176	20.6	26	14.4	3.5	n.s.
行為障害(非行)	186	21.7	93	51.7	61.6	<.01



性的虐待の加害者一覧

女性への加害者	人	男性への加害者	人
実父	22	施設年長児(男女含む)	15
継父	18	母親	9
母親の恋人・同棲相手	16	実父	5
施設年長児(男女含む)	14	継父	2
兄	10	姉	2
同級生・知り合い(ネット含む)	7	祖母	2
見ず知らずの人	5	兄	1
祖父	4	継母	1
おじ・いとこ	4	おじ	1
大家・隣家の年長児	4	校長(ベルギーで)	1
里父	2	知り合いの他人	1
教師・園の職員	2	不明(開示なし)	5
祖母	1		
不明(開示なし)	5		



性的虐待の実態

女性への加害 (N=125)	人	男性への加害 (N=55)	人
性交	62	口腔性交	17
性器への接触	49	肛門性交	16
体を触られる	7	性器への暴行	10
性交の目撃	5	性器への接触	7
口腔性交	1	性交の目撃	3
性器を焼かれる	1	キスの強要	2



性的虐待の男女による差

	男性	%	女性	%	χ^2 値	p値
発達障害	32	58.2	28	22.4	24.8	<.01
反応性愛着障害	30	54.5	61	48.8	0.5	n.s.
解離性障害	46	83.6	100	80.0	0.3	n.s.
PTSD	13	23.6	87	69.6	32.7	<.01
反抗挑戦性障害	9	16.4	17	13.6	0.2	n.s.
行為障害(非行)	36	65.5	57	45.6	6.0	0.01
性的加害行為	35	63.6	22	17.6	37.4	<.01



性的虐待の問題

- まだ十分に把握されていない(公的統計の3%)
- 重症！！特に解離性障害、PTSD、行為障害などの併存の高さ
- 男児の場合は、高率に加害に！
- 解離の高さ→体験の非連続性→治療の困難性を生じる
- 特に多重人格障害の場合、最難度の対象に
- 一見克服したかに見えても、後に様々な問題を生じることも多い



子ども虐待のケアに必要なこと

- ケアチーム
- 各機関の調整、役割分担
- 生活:安全確保、生活スキル、愛着の修復、行動障害の抑制
- 治療:診断、心理教育、子の治療、親のサポート、解離の統制、フラッシュバックへの対応、
- 教育:学力の凹凸の見極め、個別教育プログラム、健康な社会行動スキルの獲得



複雑性トラウマへの治療

- 一般的なカウンセリングで悪化！・・・発達障害とPTSDは通常の心理治療が有効に働かない
- 生活がなによりも中心
- トラウマ処理という特殊な技法
PE、EMDR、TFTなどトラウマへの直面化
- 重度の解離に対する自我状態療法
- 対フラッシュバックのための特別な薬物療法
神田橋処方 桂枝加芍薬湯＋四物湯



児童養護施設の危機

- ・ 慢性の人手不足の中で、重症児が大半を占める
- ・ 虐待的対人関係の反復
- ・ 性的虐待の存在が不明のまま措置される
- ・ 施設内性虐待の連鎖
 - ・・・文化的基盤を変えることが必要となる
- ・ 施設内虐待通報義務の制定(2009)
 - ・・・性的虐待の問題が噴き出す可能性



社会的養護：これまでの研究から

- ・ 児童養護施設に暮らす児童の特徴として
 - ☆多動、集中困難、学力の障害、他者との協調が困難、非行行為、衝動的刺激探索行動、大人への選択的対人関係の障害
 - ☆特に2歳以前の時期を施設で過ごす、後年の後遺症が深刻
- 他の先進国では既に乳児院・児童養護施設による社会的養護は一時保護を除き、ほとんど消失

日本の社会的養護は、国を挙げてのネグレクト



もっとも大切な点は

- 子ども虐待は人ごとではない
- 急増の背景には日本文化の変容があり、いつでもどこでも生じる可能性がある
- 社会的弱者に全てのしわ寄せが集まる
- 子ども虐待は反社会的連鎖を作る
- 放置は次の世代に大きな負の遺産を残す
- 今、きちんとお金を掛け、対応策をたてることが実は最も安上がりな方法